

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 902

2024 年 5 月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

共産党相模湖後援会主催

「春のつどい」開かれる

「つどい」は4月14日午後、寸沢嵐集会場をお借りして開かれました。

会場には来るべく総選挙に向けて張り出されている「比例代表は日本共産党へ」と、小選挙区神奈川14区中村圭予定候補のポスターに加え、「住民の健康と命を守る診療所の存続」を訴えるノボリがかかげられ、テーブルにはお茶と茶菓子などが置かれ、気軽に政治問題などが熱心に語り合われました。

中村圭衆院予定候補挨拶

初めに主催者代表の挨拶に続き、参加された中村圭党北部地区副委員長(衆議院選神奈川14区予定候補)が挨拶されました。中村氏は民間企業で低賃金で働いた体験など若干の自己紹介のあと、今、国政で大問題になっている自民党の裏金問題を最初に告発したのが「しんぶん赤旗」日曜版であること、この問題は自民党が組織ぐるみで数十億円という大金を私的に懐に入れ、勝手に使っている事、その一方物価高騰に対

する無策の岸田政権を批判、さらに福島復興予算などを削減してまで軍事予算を大拡大するなど、『戦争する国づくり』に暴走し国民の暮らし、平和を脅かしていることは重大である。今こ



そ野党共闘と日本共産党の前進で自民党政治を終わらせる総選挙にしましうと訴え、参加者からの質問などに応えました。

自民政治への怒り、

日本共産党への期待語り合う

50代の男性は「今日はお誘いのチラシを見て初めて参加した。今の自民党政治はあまりもひどい、共産党以外の野党もあてにならない。やっぱり筋を通し国民の目線で頑張る共産党に頑張ってもらいたい」と。またある男性は「自民党だけではなく公明党もだめだ。これまで共産党は応援していたが今度は周りにも広げる為に動きたい」。ある女性は「とにかく岸田内閣が進める戦争準備だけは心配、許せない」など、

こもこも今の政治に対する怒りと共に自民党政治を終わらせる為に野党共闘と日本共産党の前進を願うての懇談となりました。最後に党相模湖支部長から参加者へ総選挙への協力の訴えや発行900号を迎えた「明日の相模湖」の小冊子保存版(第18号)の購読が訴えられ、11冊が買い求められました。

尚、第2部の懇親会には12名の方が参加し交流を深めました。

津久井の低山⑪ 南高尾山陵 7峰



自然観察シリーズ

NO. 570

山

南高尾山陵とは大垂水峠から城山湖あたりまで続く山の連なりで、高尾山を中心に南に位置する為、山登

津久井の低山 ⑪ 南高尾山陵

りの世界でそう呼ばれています。

稜線上が東京と神奈川の都県境になっています。大垂水峠の方から、大洞山、金ピラ山、中沢山、入沢山、泰山寺山、榎窪山、草戸山（町田市最高点）の七峰が名前が付いていて、標高三百メートル級から五百メートル級の低山です。

高尾山だけでは物足りなくなったハイカーが、もう少し歩きたいと思った時、高尾山口駅から草戸山に取り付き、南高尾山陵を縦走して高尾山に至る、約十六キロメートルのハート形のトレイルコースで、もちろん反対に高尾山から歩くのも良く、達成感のあるコースではないでしょうか。特に山桜の咲く春の頃は、山肌になんかに生えているのかと思う程の白い山桜が散りばめられていて、対岸から眺めた時の風景は見事です。（ちなみに高尾山を中心に北高尾山を中心に北高尾山陵や東高尾山陵もあります）

明日の相模湖

保存版 第18号 (NO. 851~900)
2020年8月～2024年3月



日本共産党相模湖支部

「明日の相模湖」保存版 第18号発売中

「明日の相模湖」のNO・851～900号をまとめた保存版・第18号が完成し、発売中です。

共産党相模湖支部は、安心して暮らせる社会・地域にするために、毎月、「明日の相模湖」という地域政治新聞を発行し、共産党の政策や、住民要求実現にむけての情報を発信してきました。その足跡と、ご好評をいただいている「自然観察シリーズ」を改めてまとめご覧いただけます。ご希望の方には500円で販売していますので、「明日の相模湖」をお届けしている者か、鈴木哲夫(6850777)までご連絡下さい。